

「文の京」総合戦略

概要版

令和6年度～令和9年度
(2024年度～2027年度)



文京区の **いま** と **これから**

本区の人口

令和5年1月1日現在

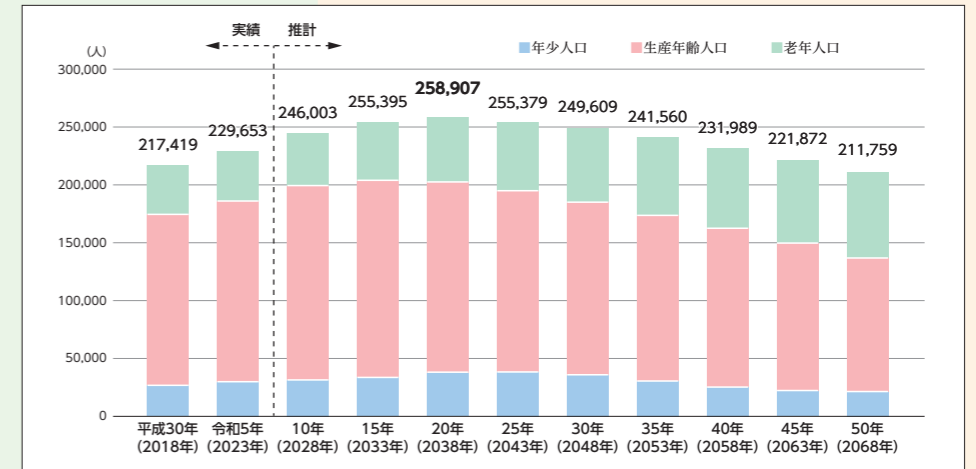
約 **23.0万人**

令和20年には

約 **25.9万人**

本区の人口は、昭和38年の約25万3千人をピークに、平成10年には約16万6千人まで減少しましたが、その後、増加に転じています。

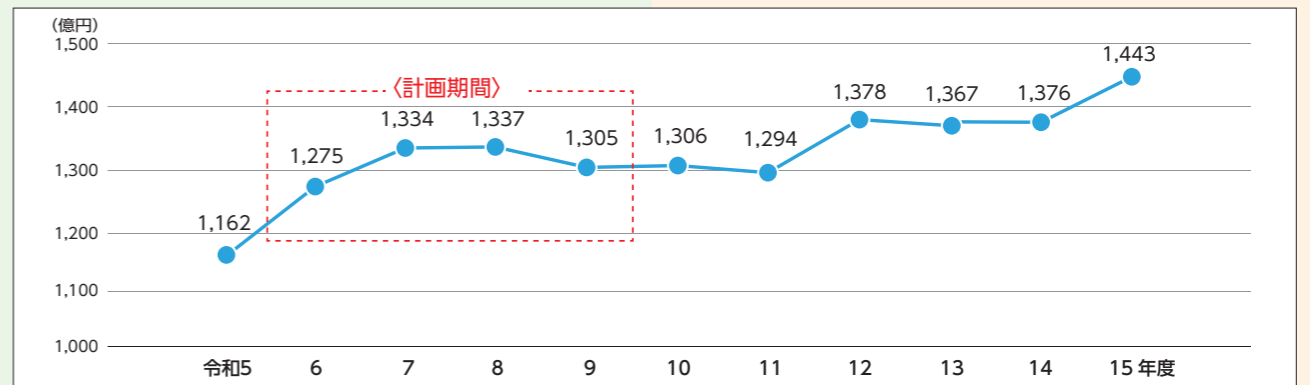
区独自の将来人口推計では、区の人口は令和20年まで増加を続け、その後は、緩やかな減少に転じると予測されます。



今後の財政状況

令和6年度一般会計当初予算は約1,275億円で、当初予算としては過去最大となり、今後も予算規模は拡大していくことが見込まれます。

そのため、これまで以上に効率的・効果的で質の高い区政の運営に取り組み、持続可能で健全な財政運営につなげていく必要があります。



文京区を取り巻く社会状況の変化

1 変化する人口構成への対応

令和20年までは、人口の増加傾向は続くと推計しています。今後、これまで以上に少子高齢化の進行が加速していくと見込んでおり、当面の人口増に対応する一方、年少人口がピークを越え、高齢者の増加が続く令和25年以降を見据えた施策にも一層取り組む必要があります。

2 安全・安心に対する意識の高まり

いつ、どこで起こるかわからない地震災害に対して、自助・共助の取組の重要性が高まっています。また、豪雨や土砂災害等の気象災害による被害が毎年のように発生しており、気候変動とその影響は、重要な問題となっています。



3 ライフスタイルの多様化

昭和60年以降、共働き世帯は年々増加しています。また、労働力人口総数に占める65歳以上の割合は、長期的には上昇傾向にあります。

個人のインターネット利用機器は、スマートフォンがパソコンを上回り、20～59歳の約9割が利用されているとされています。

4 持続可能な開発目標 (SDGs) の取組

2030年までに達成すべき国際目標であるSDGsは、2023年で中間年を迎えており、国民の認知度は約9割に達しています。一方で、より一層SDGsを意識して、行動



に結びつけていく必要があります。本区においても、区民や地域団体、事業者等と連携を図りながら、各施策を一層推進する必要があります。

5 高度情報化社会の進展

～「超スマート社会(Society5.0)」の実現～

多様化する区民ニーズに対し効果的にサービスを提供するため、あらゆる分野でデジタル技術を有効に活用しつつ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を強力に推進する等、Society5.0の実現に向けた取組を推進していくことが求められています。

6 公共施設等の老朽化

今後、大規模改修や更新の時期を迎える公共施設等が集中することに伴い、「文京区公共施設等総合管理計画」

に基づき、定期的な点検・診断による、計画的な予防保全を実施することで、LCC(ライフサイクルコスト)の削減を図るとともに、建物の規模や用途等に応じて長寿命化を実施します。



「文の京」総合戦略とは

位置付け

行政需要の変化を的確に捉えた区政運営を進めていくため、重要性・緊急性が高い優先課題を明らかにした「重点化計画」とし、財政的な裏付けを伴う区の最上位計画に位置付け、各分野の個別計画との整合を図ります。

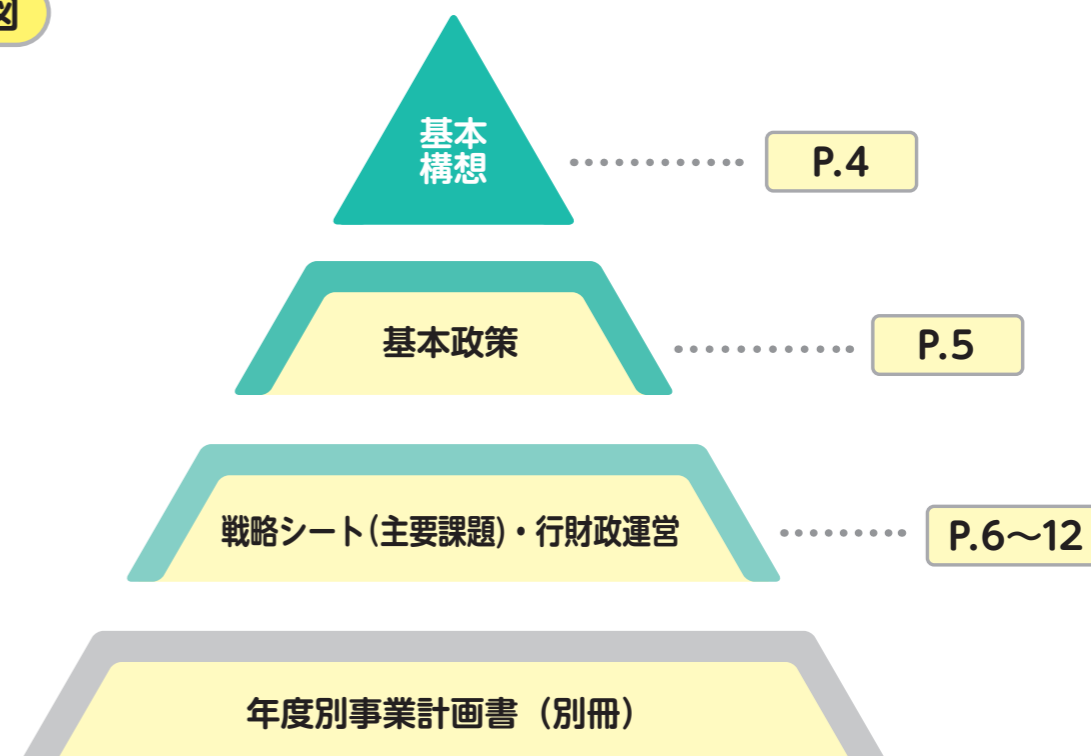
計画期間

令和6年度から令和9年度まで(2024年度から2027年度まで)

進行管理

毎年度、事業実績等の点検・分析を行い、計画期間中であっても事業を柔軟に組み替えることで、区を取り巻く社会環境等の変化に柔軟に対応し、区が抱える課題の解決に取り組めます。

体系図



基本構想 ってなに？



文京区の目指すべき将来都市像を明らかにし、その実現に向けた、区政運営の理念を示すものです。

1 みんなが主役のまち

「文の京」自治基本条例に掲げる区民、地域活動団体、非営利活動団体、事業者などと対等の関係で協力し、協働・協治をさらに推し進めます。そして、互いを尊重し合いながら、「文京区のあるべき姿（将来像）」の達成に向け、持てる力を存分に発揮できるまちを目指します。

2 「文の京」らしさのあふれるまち

この基本構想においても、前基本構想で定義した「文の京」を、本区を表す象徴的な言葉として継承していきます。
今後もこれまで以上に、区民一人ひとりが文京区に住み、働き、学ぶことに深い愛着と強い誇りを持つとともに、区と区民を含む新たな公共の担い手と力を合わせて発展させていく自治のまちを目指します。

3 だれもがいきいきと暮らせるまち

子ども、高齢者、障害者、外国人をはじめ、地域社会を構成するさまざまな人たちが人権を尊重し、互いの立場を思いやりながら行動するとともに、男女が性別にかかわらず平等な立場で、社会のあらゆる分野へ参画することによって、一人ひとりが個性豊かにいきいきと暮らせるまちを目指します。
また、多様な生き方が選択・実現できるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けて、積極的に取り組んでいきます。

将来
都市像

歴史と文化と緑に育まれた、
みんなが主役のまち「文の京」
ふみ みやこ

6つの 基本政策

1 子どもたちに輝く未来をつなぐ

だれもが、安心して子育てができるとともに、子どもたちが輝く未来に向かって豊かな心を育み、自分らしく健やかに成長していくことができるまちを目指します。

2 健康で安心な生活基盤の整備

だれもが、いきいきと自分らしく、心身ともに健康で自立した生活を送り、互いに支え合いながら、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるまちを目指します。

3 活力と魅力あふれるまちの創造

多彩な産業や文化・観光資源が、地域に活力と賑わいを与え、多様な文化の交流により、地域の新たな魅力を創造するまちを目指します。

4 文化的で豊かな共生社会の実現

多様性に富んだ共生社会において、すべての人が、主体的な地域活動や文化的な学びの場などを通じて、個性や能力を十分に発揮でき、暮らしの中に安心と豊かさのあるまちを目指します。

5 環境の保全と快適で安全なまちづくり

だれもが快適で、安全・安心に暮らせる都市基盤を整備するとともに、環境負荷の少ない、持続可能なまちを目指します。

6 持続可能な行財政運営

健全な財政運営のもと、多様な主体との協働や機動的な組織体制により、質の高い行政サービスを提供し、将来に向けて持続可能な行財政運営を推進します。

将来都市像の実現に向け、各施策を推進するための基本となる考え方である「基本政策」を踏まえるとともに、SDGsの視点を当てはめて、4年間における重要性・緊急性の高い52の主要課題の解決に向けて組織横断的に取り組むべきことと、解決手段となる計画事業を「戦略シート」において示しています。次のページから、主要課題の一部をご紹介します。

文京区の4年後の目指す姿

主要課題 No.6

新しい時代の「学力」
向上



主要課題 No.26

区民の主体的な
健康づくり



主要課題 No.34

誰もが観光に訪れたく
なるまちの環境整備



主要課題 No.31

商店街の活性化



主要課題 No.3

子育て支援サービスの
安定的な提供

主要課題 No.21

介護サービス基盤の
充実



主要課題 No.36

地域コミュニティの
活性化



主要課題 No.46

地域防災力の向上



主要課題 No.44

地球温暖化対策の
総合的な取組



主要課題 No.38

誰もがスポーツに親しむ
ことができる環境づくり



子どもたちに輝く 未来をつなぐ



主要課題 No.3

子育て支援サービスの安定的な提供



4年後の目指す姿

子育て家庭のニーズに応じた必要な子育て支援サービスが安定的に提供され、安心して子育てができ、子どもが育つ環境が整っている。

主要課題 No.6

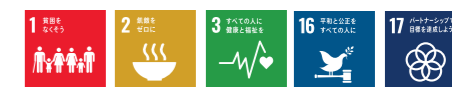
新しい時代の「学力」向上



4年後の目指す姿

児童・生徒が、グローバル化や情報化等による社会の変化に対応するための力や、課題に向き合い、解決する力を身に付けている。

健康で安心な 生活基盤の整備



主要課題 No.21

介護サービス基盤の充実



4年後の目指す姿

多様な介護ニーズに対応する事業所の整備が促進されるとともに、介護人材が働きやすい環境整備を支援し、介護人材の確保・定着が図られることで、区民に必要な介護サービスが安定的に提供されている。

主要課題 No.26

区民の主体的な健康づくり



4年後の目指す姿

健康の保持増進のため、区民一人ひとりが、健康的な生活習慣の必要性を理解し、主体的に健康管理を行っている。また、区民等の喫煙による健康被害に関する意識が高まり、主体的な禁煙行動が促進されている。

活力と魅力あふれる まちの創造



主要課題 No.31 商店街の活性化



4年後の目指す姿

地域の特性を活かした魅力的で活気のある商店会活動が行われているとともに、各商店が販売力向上に向けて創意工夫を活かした取組を積極的に行っている。

主要課題 No.34 誰もが観光に訪れたいくなるまちの環境整備



4年後の目指す姿

本区の豊富な観光資源の魅力が高まり、国内外から訪れた多くの観光客がその魅力に触れることができるとともに、観光客のニーズに対応した観光案内等により、だれもが安心して区内の観光を楽しむことができ、観光を通じ地域に活力が生まれ、区民等が地域に対する愛着や誇りを持っている。

文化的で豊かな 共生社会の実現



主要課題 No.36 地域コミュニティの活性化



4年後の目指す姿

区民をはじめ、区にかかわるあらゆる立場の人がつながり、積極的に地域活動に参加することで、自らまちの課題を解決し、だれもが安心して暮らせる、活気あふれる地域活動が行われている。

主要課題 No.38 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり



4年後の目指す姿

区民のスポーツへの気運が高まり、地域が活性化するとともに、インクルーシブスポーツへの理解が促進され、年齢・性別・体力・障害の有無等に左右されることなく、誰もがいつでも、いつまでも、安心してスポーツに親しめる環境が整備されている。

環境の保全と快適で 安全なまちづくり



主要課題 No.44 地球温暖化対策の総合的な取組



4年後の目指す姿

区民・団体、事業者、区それぞれが主体となった自主的な取組により、再生可能エネルギーの普及が進み、省エネルギーを実践している暮らしや活動の定着が図られている。

主要課題 No.46 地域防災力の向上



4年後の目指す姿

自らの命は自らが守る「自助」の意識や、地域での助け合いによって自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の意識が醸成され、自助・共助に根ざした活発な取組により、地域の防災力が高まっている。

そのほかの主要課題や「基本政策6 持続可能な行財政運営」については、「文の京」総合戦略の本編をご覧ください。右記二次元コードからもご覧いただけます。

文京区 総合戦略



「文の京」総合戦略

令和6年度～令和9年度
(2024年度～2027年度)

【概要版】

令和6年3月

発行/文京区

編集/企画政策部企画課

〒112-8555 文京区春日1-16-21

電話 03(5803)1126

FAX 03(5803)1330

印刷物番号 A0123007